あんしんできる・しんらいできる・たよれる介護サービスをめざして

福介協だより

2024.3 vol.44

代表者セミナーのご報告

令和5年10月12日、オンライン形式で開催いたしました「代表者セミナー」についてご報告します。

今年度は、「カスタマーハラスメントについて」というテーマで医療法人健明会介護老人保健施設青風苑事務長、九州大学大学院医療系学府医療経営・管理学修士青見健志氏にご講義頂きました。

契約書・重要事項説明書を取る目的、事業所で起こりえる身近な事例(トラブルになるケース)とその対応、トラブル対応について事業所が配慮しておくポイントなど、様々な事例を具体的に挙げていただき時間が足りないほどの盛沢山な内容でした。サービス利用開始時に行う利用契約書の締結と、重要事項説明書への同意の際に大切なのは、非対称性を埋めること、すなわち事業者と契約者の認識が一致していることが大事である。曖昧な説明になっていないか、忙しいことを理由に簡略化になっていないかなど、少々耳の痛いご指摘もありました。

事業所が対応出来ること、出来ないことを明確にし、また契約者にやってほしくないことも伝える。 各事業所の特徴に合わせ適切に整備、アップデートしていく作業が大切であり、そうすることによって事業所をより理解して頂き、信用・信頼に繋がるとありました。

参加者の方々からも、「契約書、重要事項説明書の大切さ、記録の重要性を再認識しました」「リスクをしっかりと理解し、記載内容も含め再構築したい」との感想をいただきました。受講された皆様が各事業所に持ち帰り、見直す良い機会となったのではないでしょうか。更に、形だけを整備

するのではなく、働く職員が曖昧・特別・例外的な対応に ならないよう教育していく大切さも再認識したセミナーで した。

青見先生、参加いただいた会員の皆様、本当にありがと うございました。 代表者セミナー カスタマーハラスメント 対策の研修

(医療法人 泯江堂 小川)

令和5年度事業実施報告

居宅介護支援部会

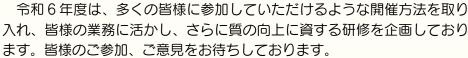


居宅介護支援部会は、令和5年度3回の研修を開催致しました。

第1回はオンライン開催とし出席者は33名でした。「疾患別にみるケアマネジメントのポイント」をテーマに訪問看護ステーションつばさ管理者 小野 幸代氏よりご講義いただきました。参加者から「老衰、看取り期などの身体の変化などがよくわかった」「支援のポイントがわかりやすかった」「情報共有、役割分担の必要性がわかった」等、感想をいただ

きました。第2回は出席者15名でした。「援助力が高まる事例検討の実際」をテーマに、日本ケアマネジメント学

会 副理事長/株式会社フジケア 代表取締役社長 白木 裕子氏にご講義いただきました。参加者から「アセスメントのとり方や事例の深め方の理解ができた」「アセスメント方法について、自分に足りないところがわかった」等、感想をいただきました。第3回はオンライン開催とし出席者は44名でした。「事例から学ぶ高齢者虐待防止とその支援について」をテーマに、公益社団法人福岡県社会福祉会 高齢者・障害者虐待対応チーム 石橋 雅子氏よりご講義いただきました。参加者から「虐待を疑うケースでは相談するだけではなく直接通報するなどスピード感を持って対応することの重要性が確認できた」「虐待と認識していない事例が虐待にあたることがわかった」等、感想をいただきました。







第1回研修会



第2回研修会

在宅サービス部会



令和5年度在宅サービス部会では、計4回の研修を開催いたしました。

第1回研修会は、9月11日に「介護技術研修~移動・移乗について~」と題して、株式会社大起エンゼルヘルプ介護事業部 田中義行氏よりご講演いただき6名が参加されました。「実際に介護用品を使ってみると大変分かりやすかった。ボードがしっくりこなかった理由が分かった。」などの感想をいただきました。

第2回研修会は、11月22日に「能力に合った食事の形態について」と題して、医療法 人泯江堂油山病院栄養部 森脇理絵氏よりご講演いただき

9名が参加されました。

「とろみはつけすぎもよくなく、温度や時間、量がとても大切だと学べた。」 などの感想をいただきました。

第3回研修会は、12月15日に福岡市消防局より「救命講習会」の講義をいただき14名が参加されました。

「胸骨圧迫やAEDの使い方がよくわかった。」などの感想をいただきました。

第4回研修会は、1月19日に「"人"の暮らしを支えるための視点について~複雑化・複合化していく暮らしを支えていくための気づきを深めよう~」と題して、社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会地域包括支援部山本みゆき氏よりご講演いただき10名が参加されました。

「他の職種の視点や気付きの違いなど大変参考になった。」などの感想をいただきました。

令和6年度の研修事業におきましても、皆様のご意見やご要望に沿った 内容を企画していきたいと考えております。

(医療法人泯江堂 岩瀬)



第2回研修会



第3回研修会

施設サービス部会



令和5年度は3回の研修を実施いたしました。

第1回は「お互いに気持ち良くなれる排尿ケア」〜現場でのアセスメントとチームケア〜をテーマに、NPO法人日本コンチネンス協会九州支部副支部長/コンチネンスアドバイザー 種子田美穂子様にご講義いただきました。

参加者からは「排尿障害、対応、対策等学ぶことができた。」「職場で活用できる排尿ケアを学ぶことができた。」等の感想をいただきました。

第2回、第3回は、株式会社大起エンゼルヘルプ 介護事業部 事業部 長補佐/理学療法士 田中義行様にご講義いただきました。

第2回は、「ADL向上を目的とした生活訓練と杖(歩行器)を選ぶ際のポイント」をテーマに、ご講義いただき、参加者からは「施設の中で機能訓練をどう行ったら良いか、どう関わっていくのか、考え方など、大変参考になった。」等の感想をいただきました。

第3回は「車いす・ベッドでのポジショニングについて」をテーマにご 講義いただき、参加者からは「拘縮ケアについて新たな学びや実技を通し て理解を深めることができ、非常に内容が濃い研修だった。」等の感想を いただきました。

会員の皆様、ご参加いただきありがとうございました。集合研修では、 実技や直接質問できる機会もあり、大変有意義な研修となりました。次年 度も、参加者同士の交流機会つくりながら、より多くの方に参加していた だける研修を実施していきたいと思います。

(社会福祉法人今山会 塩田)



第1回研修会



第2回研修会

[サービスの質向上委員会



令和5年度サービスの質向上委員会は4回の研修を企画し3回実施しております。

第1回は、令和5年7月19日に新人職員研修として、『知っておきたい介護保険制度の 基礎知識』の内容で 社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会主任ケアマネジャー・認定 ケアマネジャーの田中恵子氏にご講義頂きました。

保険制度の仕組みを理解できた。改めて勉強になった。などの感想を頂いております。 第2回は、令和5年8月17日に『クレームの受け止め方について』の内容でこころ塾代

表 一般社団法人こころ塾 代表理事の内木場三保氏にご講義頂きました。 コーチングのタイプ分けが参考になった。クレームの本質とニーズの関連 性を学ぶことができた。などの感想を頂いております。

第3回は、9月に予定しておりましたが講師の都合により開催中止となっております。第4回は、令和5年11月20日に『介護職員の接遇~利用者満足度と職員満足度の関係を考えてみましょう~』の内容で学校法人麻生塾 麻生福祉専門学校福岡校教務部の山下和美氏にご講義頂きました。基本や初心を忘れず業務にあたりたい。自分自身に当てはめるこができた。すぐできることが多く参考になった。などの感想を頂いております。昨年度も多数の会員の皆様のご参加を頂き、意義ある研修を行うことができました。来年度も皆様のご意見ご要望を参考に、更なるサービスの質の向上を目的とした研修を企画し実施していきたいと思います。

(医療法人ながら医院 毛利)



第2回研修会



第4回研修会

令和5年度 事業一覧

1 総 会

事 業	名	実施月日	内容	講師等
総会・講	演会	6月14日(水) 14:00~17:00	令和4年度事業実績・決算 令和5年度事業計画・予算(案) 講演会「パワハラ防止法全事業所義務化!ハラスメントの正しい知識と対策」	高橋 美紀 氏 (コーディアル社会保険労務士事務所 代表)

2 委員会

(1) 代表者セミナー等企画委員会

=	第	名	実施月日	内容	講師等
	代表者セミナー		10月12日(木) 14:00~16:00	【事業者向け公開講座】	
代				「カスタマーハラスメントについて」 ※オンライン講座	青見 健志 氏 (医療法人健明会 介護老人保健施設清風苑 事務長 九州大学大学院医療系学府 医療経営・管理学修士)
介	護の職	場見学	10月28日(土)	参加法人	
オ	ンライン	ツアー	10:00~11:30	社会福祉法人今山会,社会福祉法人敬愛園、医療法人康整会、麻生介護サービス株式会社	

(2) サービスの質向上委員会

	事	業名	実施月日	内容	講師等
:	第 1	回研修会	7月19日(水) 14:00~17:00	「知っておきたい介護保険制度の基礎知識」	田中 恵子 氏 (社会福祉法人 ふくおか福祉サービス協会 主任ケアマネジャー・認定ケアマネジャー)
	第 2	回研修会	8月17日(木) 14:00~16:30	「クレームの受け止め方について」	内木場 三保 氏 (こころ塾代表)
	第 3	回研修会	Ф "	「基本的な記録の書き方・読み方について」	田形 隆尚 氏 (田形社会福祉士事務所)
	第 4	回研修会	11日20日(月) 14:00~16:00	「介護職員の接遇について」 〜利用者満足度と職員満足度の関係を考えてみましょう〜	山下 和美 氏 (学校法人麻生塾 麻生医療福祉専門学校福岡校 教務部)

(3) 会員ネットワーク委員会

事 業 名	実施月日	内容	講師等
第43号情報誌	9月	4ページ	
会員のつどい	◆ 中 止	※感染症拡大のため開催是非のアンケート集計結果により開催中止としました。	
第44号情報誌	3月	8ページ	

3 部 会

(1) 居宅介護支援部会

事 業 名	実施月日	内容	講師等
第1回研修会	8月22日(火) 14:00~16:00	「疾患別にみるケアマネジメントのポイント」	小野 幸代 氏 (訪問看護ステーションつばさ 管理者)
第2回研修会	12月18日(月) 13:30~17:00	「援助力が高まる事例検討の実際」	白木 裕子 氏 (日本ケアマネジメント学会 副理事長/ 株式会社フジケア 代表取締役社長)
第3回研修会	1月12日(金) 14:00~15:30	「事例から学ぶ高齢者虐待防止とその支援について」	石橋 雅子 氏 ((公社)福岡県社会福祉士会 高齢者・障碍者虐待対応チーム)

(2) 在宅サービス部会

事 業 名	実施月日	内容	講師等
第1回研修会	9月11日(月)	「介護技術研修~移動・移乗~」	田中 義行 氏 (株式会社大起エンゼルヘルプ
	14:00~17:00	~ベッドから車いすへ、車いすからベッドなどへ~	介護事業部 事業部長補佐/理学療法士)
第2回研修会	11月22日(水)	「能力に合った食事の形態について」	森脇 理絵 氏 (医療法人泯江堂 油山病院
	14:00~16:00	〜誤嚥を防ぐための食事を作る時に気を付けることを考えてみましょう〜	栄養部 課長/管理栄養士)
第3回研修会	12月15日(金) 13:30~16:30	「救命講習会」	福岡市消防局
第4回研修会	1月19日(金)	「"人"の暮らしを支えるための視点について」	山本 みゆき 氏
	14:00~16:00	〜複雑化・複合化していく暮らしを支えていくための気づきを深めよう〜	(ふくおか福祉サービス協会 地域包括支援部)

(3) 施設サービス部会

事業	名	実施月日	内容	講師等
第1回研修	修 会	7月14日(金) 14:00~16:00	「お互いに気持ち良くなれる排尿ケア」〜現場でのアセスメントとチームケア〜 講師:大牟田市保健福祉部コンチネンスアドバイザー/ NPO法人日本コンチネンス協会 種子田 美穂子氏	種子田 美穂子 氏 (大牟田市保健福祉部コンチネンスアドバイザー/ NPO法人日本コンチネンス協会九州支部副支部長)
第2回研修	修 会	9月12日(火) 10:00~16:00	介護技術研修「ADL維持・向上を目的とした生活動作の訓練方法と、 杖(歩行器)を選ぶ際のポイント」 講師:株式会社大起エンゼルヘルプ 介護事業部 事業部長補佐 理学療法士 田中 義行 氏	田中 義行 氏 (株式会社大起エンゼルヘルブ 介護事業部 事業部長補佐 理学療法士)
第3回研り	修 会	11月14日(火) 10:00~16:00	介護技術研修「車いす・ベッドでのポジショニングについて」 講師:株式会社大起エンゼルヘルプ 介護事業部 事業部長補佐 理学療法士 田中 義行 氏	田中 義行 氏 (株式会社大起エンゼルヘルブ 介護事業部 事業部長補佐 理学療法士)

― 福岡市社会福祉協議会さんの

"地域福祉活動"と"まちづくり"について教えてもらいました —

支え合い、助け合いの地域づくりをめざして

福岡市社会福祉協議会では「つながりで"元気" "安心"なまちの実現」を目標に掲げ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに取り組んでいます。各小学校区や自治会・町内会単位など、福岡市内の身近な地域でも、それぞれの地域に合わせた支え合い、助け合いの取組みが行われています。今回は、その一部をご紹介します。

ふれあいサロン



高齢者や障がい者等の孤立防止や介護予防 等を目的とした交流の場。おしゃべりや体操、 レクリエーションなど様々なプログラムが 行われています。

生活支援



地域住民が校区や町内でゴミ出しや電球 交換などちょっとした日常の困りごとの サポートを行う活動

ふれあいネットワーク



地域で孤立しないよう近隣で見守りや声かけ、訪問などを行う活動。平常時だけでなく、災害時に備えた見守り体制づくりにも取り組んでいます。

買い物支援



丘陵地等で買い物が困難な地域で、企業 等の協力を得て移動販売や臨時販売、送 迎支援にも取り組んでいます。

介護事業所や福祉施設と地域との連携の取組み

上記のような地域福祉活動において介護事業所や福祉施設等と地域が連携した取組みが広がっており、ふれあいネットワークでは、事業所・施設職員が見守りやボランティアの会議に参加したり、ふれあいサロンに参加し健康体操やレクリエーションの指導する他、活動場所として施設を提供したりしています。生活支援では事務局を担ったり、施設利用者がボランティアとして活動したり、買い物支援では、事業所・施設の車両で買い物先への送迎を行うなど、事業所・施設の持つ資源・専門性・機能を活かした活動が展開されています。

ご興味がありましたら、下記にお問い合わせください。

社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会

地域福祉課 ☎ 092-791-6339 Email:chiiki@fukuoka-shakyo.or.jp

また、ふれあいネットワークやサロン等の活動状況は福岡市社協HPに掲載 していますのでぜひご覧ください。





~外国人介護人材受入に関する取組み~

外国人介護人材の雇用に向けて総合的に支援します!

外国人介護人材とのマッチング支援

特定技能1号による就労希者等と介護施設・ 事業所とのマッチングを行います。

プラットフォームによる情報交換

外国人介護人材の受入れ、活躍、定着支援 に関する情報交換、連携の場として、交流 会を実施します。



草の根交流プログラム

外国人材と地域との楽しい交流イベントを、 地域団体との共同開催も含め、実施します。



★KAIGOinFUKUOKA 公式オープンチャット開設しました★

オープンチャットとは?

普段の LINE 上では友達でない 人達同士がひとつのトークルーム で情報交換が出来るサービスです









\気軽に情報交換しませんか?/

介護事業所のみなさま、関係団体、 教育機関のみなさまなど外国人介 護人材受入れに関する同士の気軽 な情報・意見交換の場としてご活 用ください!

※日常のLINEのご利用で公開されている個人情報は一切公開されませんので安心してご利用いただきます。

取り組みの詳細はホームページで!/ \ KAIGOinFUKUOKA 公式オープンチャット/

フォローをお願いします!/







★令和6年度の取組みの詳細は「福岡市 福祉・介護人材」ホームページに 掲載していきます。こちらをご覧ください。 Facebook「福祉人財の部屋」

【問い合わせ】

福岡市高齢社会部高齢社会政策課福祉人材係 TEL:092-711-4595

福岡市が行う



何属でも チャレンジできる 福祉人材確保の取り組み紹介



~福祉人財が輝くまちへ~

福岡市では、急速な高齢化と労働力人口の減少に伴い、今後より多くの福祉・介護サービスの担い手を確保する必要があるため、国・県・市の役割分担のもと、広域的な視点から総合的な人材確保策を進めています。

働きながら

介護職員初任者研修の無償取得支援

介護職員初任者研修の無償取得支援や介 護事業所等の求人支援を行い、双方をマッ チングします。

介護の魅力発信

小・中高生を中心に介護の魅力を業界の新人介護士やトップランナー取材したり、SNS等での発信を行っていきます。



対話の場づくり研修

事業所の壁を超えて対話の 場づくりができる人材の育成を 行います。



介護業界の経営力強化研修

経営層やリーダーに総合的なマネジメントスキルを身に付ける研修を実施します。



実際の介護現場におけるIC T活用による業務効率化のモ デル形成を実施します。

介護ロボット等導入支援

労働環境の改善に有効な介護ロボット等の導入促進のため、介護ロボット等に精通した職員の養成講座の開催や、介護事業所へのトライアル貸出を実施します。

介護業界全体の Well-being向上支援

介護業界全体のウェルビーイ ングを高めるための研修や交 流会を実施します。



NEW∕

~令和6年度からの新たな取組み~

介護事業者の経営支援

介護保険サービスの安定的な提供を図るため、 コンサルタントを派遣し、介護業界全体の 課題傾向を踏まえた経営モデルを作成し、 展開します。

介護サービスのDX推進

見守り機器等に加え、様々なICTツールの導入 実験を行い、ICTツールを複数組み合わせたパッケージモデルを作成し、介護業界への普及を 促進します。









ロゴマーク「SOU!かいご」

福岡市では、福祉・介護の関連団体や教育機関・行政機関等が一丸となって介護の魅力発信に取り組んでいます。これは、その取組の一環で制作した、活動のシンボルとなる ロゴマーク です。

会員施設紹介(介護医療院)

介護医療院とは、長期療養と生活を目的とした医療機関にしかない介護施設です。

医師・看護師が常駐しており、必要に応じて医療的なケアの提供ができる為、一般的に介護施設では対応が難しい 経鼻経管栄養の方や喀痰吸引・点滴等の医療処置が必要な方の受け入れも可能です。

当院の介護医療院の特徴は、なんといっても多職種の関わりです。

入所時には必ず内科医・看護師・介護士・薬剤師・リハ

ビリの療法士・栄養士が全身の状態確認を行いますが、加えて歯科医・歯科衛生士・言語聴覚士が口腔内の確認も行います。

入所時カンファレンスでは、その方の全身状態の確認と情報共有し支援計画を立てた上で、多職種協働で支援しています。

2023年7月からショートステイの受入を再開、さらに併設の医療機関と連携し、当院の強みである多職種連携を生かした「嚥下評価入院」も始めました。

どうぞお気軽にお問合わせ下さい。

(医療法人 永寿会 シーサイド病院 TEL 092-806-7171)





編集後記 はじめに、令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

近年は豪雨、台風による水害リスクが上昇しており、今後も大地震の発生も想定されていることから、災害がいつ発生しても落ち着いた行動が取れるように災害時の心がまえを日頃から持っておく必要があります。介護事業者は災害の発生時において利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(業務継続計画)を策定することが求められています。

令和6年度は3年ごとに見直される介護報酬改定の年となります。介護報酬が見直される目的は介護需要の変化や経済状況・政府の政策の変更などを踏まえて適切な介護サービスの質を確保することです。社会の変化や利用者のニーズに合わせて定期的に介護報酬の改定を行うことで、介護サービスの適切な提供と介護サービス利用者のQOL(生活の質)の向上を目指しています。

本協議会も利用者の皆様、会員の皆様にとって、より魅力ある協議会活動を目指して取り組んでまいります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

(医療法人永寿会 梶原)

発 行 元 福岡市介護保険事業者協議会 会員ネットワーク委員会

発 行 日 令和6年3月

お問い合せ先 福岡市介護保険事業者協議会事務局【(社福)ふくおか福祉サービス協会 介護支援課内】

TEL 092-761-0883 FAX 092-761-0877 http://www.fukukaikyou.gr.jp